

1. 「シラサギコムギ」の早期収穫の限界と品質（技術）			
[要約] 「シラサギコムギ」は成熟期前後に連続降雨があると品質が低下する。このような場合は、成熟期 2 日前を限界として早期収穫することで降雨による品質低下を避けることができる。			
研究室名	作物研究室	連絡先	086-955-0275

[背景・ねらい]

岡山県の奨励品種である「シラサギコムギ」は収穫時期が梅雨入り時期と重なるため、常に品質低下が懸念されている。そこで、成熟に伴う外観・内部品質の経時変化と降雨が品質に及ぼす影響を調査し、降雨による品質低下を最小限にする収穫時期を明らかにする。

[成果の概要・特徴]

1. 「シラサギコムギ」は成熟期 5 日前（子実水分 41～42%）頃には、外観、内部品質は成熟期と同程度に達しており、その後は水分のみが減少する（図 1、2）。
2. 早期収穫の限界は子実水分が 36%（成熟期 2 日前）頃であり、これより早い収穫は緑色粒の混入により品質が低下する（データ省略）。
3. 成熟期 2 日前以降に連続 2 日以上降雨に遭うと容積重、検査等級、フォーリングナンバー、最高粘度が低下する（表 1）ので、このような場合は品質低下を防ぐため成熟期 2 日前を限界として早期収穫するのがよいと考えられる。

[成果の活用面・留意点]

1. 成熟期約 3 週間前から雨よけして試験した場合の結果である。
2. 早期収穫は降雨が続くと予想される場合にのみ行う。また、収穫、乾燥調製で品質が低下しないようにする。

[具体的データ]

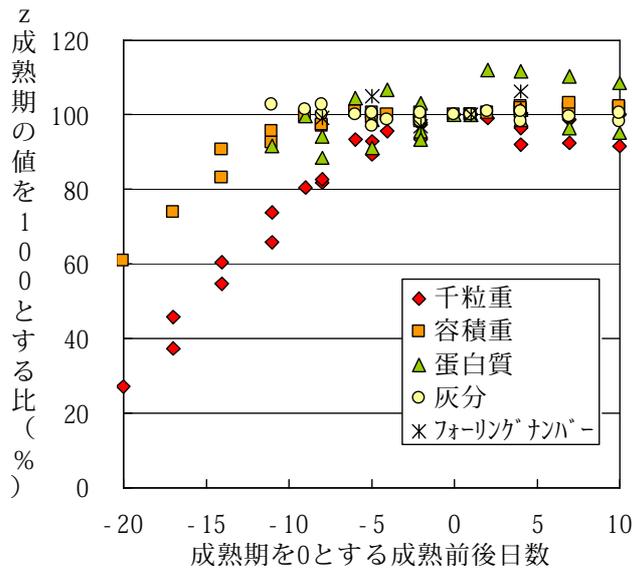


図1 外観、内部品質の推移 (平成16~18年)

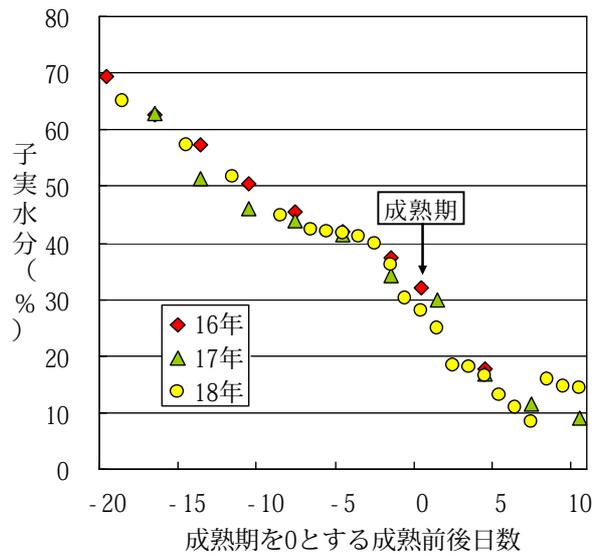


図2 子実水分の推移

²成熟期の値 (平均)

千粒重40.8g、容積重815g/L、蛋白質含量9.9%、灰分1.54%、
 フォーリングナンバー358 (平成16年のみ)

表1 降雨処理の時期と外観、内部品質

年次	降雨日 (成熟期 前日数)	連続降雨 日数	千粒重 g	容積重 g/L	等級	蛋白 %	灰分 %	フォーリン グナンバー	最高粘度
16	-1	1	40.1	826	1中	10.3	1.58	355	363
16	-1	2	39.6	813	1下	10.2	1.54	317	280
16	-1	3	37.9	803	1中	9.6	1.50	239	294
16(無降雨)	-	-	39.0	826	1中	11.4	1.58	376	376
17	-2	2	38.1	801	2上	10.4	1.54		397
17	+1	2	37.7	796	2中	10.5	1.54		396
17	-2	3	37.7	800	2下	10.5	1.52		405
17	+1	3	38.4	791	2下	10.3	1.54		392
17(無降雨)	-	-	37.8	818	1中~下	10.9	1.57		395
19	-1	1	40.5	813	1上~中	9.2	1.50		404
19	-1	2	41.9	815	1中~下	9.8	1.48		396
19(無降雨)	-	-	42.4	819	1上	9.4	1.50		396

注) ゴシックは降雨処理による品質低下を示す
 内部品質は近畿中国四国農業研究センターによる
 品質評価の基準値は蛋白質9.7%~11.3%、灰分1.60%以下、容積重840g/L以上、
 フォーリングナンバー300以上
 最高粘度の目安は300以上

[その他]

試験研究課題・事業名：内部品質を重視した「シラサギコムギ」収穫判定技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成16~18年度

関連情報等：平成19年度試験研究主要成果「シラサギコムギ」の適期収穫チャート(技術)